

第2次習志野市文化振興計画(案)パブリックコメント 提出された意見等の概要及びこれに対する市の考え方

1. 結果の概要

- ◆実施期間:令和7年11月15日~12月15日
- ◆受付件数:合計 2件(2名)
- ◆意見件数: 5件

2. 意見等の概要及びこれに対する市の考え方

No.	項目名	頁	いただいたご意見の概要(全文のみ)	いただいた意見に対する市の考え方(案)
1	第4章 施策と取り組み 方向性2文化をつなぐ~継承と育成~施策1こどもや若い世代が文化と出会うきっかけづくり 小施策1未就学のこどもたちが文化芸術によって感性を育む機会の提供	P40	<p>P40 方向性2 文化をつなぐ 継承と育成 施策1 こどもや若い世代が文化と出会うきっかけづくり 小施策(1) 未就学のこどもたちが文化芸術によって感性を育む機会の提供</p> <p>「未就学のこどもたちの豊かな感性と創造性を育むため、こどもたちが文化芸術に触れるアートスタートを実施する」となっています。具体的にはブックスタート事業の推進が謳われていますが、昨今、良質な芸術文化体験も非認知能力を養うといわれています。プロによる人形劇鑑賞などもアートスタートとして予算を組み、取り組んでいただきたいと思います。</p>	<p>未就学のこどもたちが文化芸術に触れる機会は、豊かな感性や創造性だけでなく、自己肯定感やコミュニケーション力などの非認知能力を育むうえでも有効だと考えられています。</p> <p>公民館では、地域で活動する人形劇サークル等と連携し、幼児向けの親子鑑賞会を実施しております。これは、子どもたちが身近な文化芸術に触れる機会の創出と、地域サークルの育成を図るものです。</p> <p>今後こうした取組を継続するとともに、プロの劇団による鑑賞機会の提供についても事業内容や予算等を踏まえた上で、検討してまいります。</p>
2	第4章 施策と取り組み 方向性2文化をつなぐ~継承と育成~施策1こどもや若い世代が文化と出会うきっかけづくり 小施策2教育における文化芸術活動の推進	P42	<p>小学校・中学校・高等学校・公民館等において、文化芸術鑑賞や体験…と謳われています。</p> <p>取り組み内容No.19では「音楽を鑑賞する機会を提供します」とされていますが、舞台劇の観賞にも予算を組み取り組んでほしいです。この心が成長する時期、生の舞台劇を観ることによって心を動かされる、他の人の考え方を知り多様性を知る、など学ぶことは沢山あります。ぜひ、習志野市の全てのこどもたちが、1年に一度でも良質な舞台劇に出会えることを願います。そのことが芸術に触れる一歩となり、今後、豊かな人生を歩んでいくことにつながると思います。</p>	<p>ご提案の舞台劇鑑賞につきましては、多様な価値観学び、心を豊かにする上で有効な方策の一つと認識しております。今後とも、各学校の実態に応じた取り組みを検討し、子どもたちに質の高い文化芸術体験の機会を提供できるよう努力していきます。</p>
3	第2章 習志野市の文化を取り巻く動向 3 習志野市の文化振興の現状と課題 (1) 市民の文化芸術の鑑賞や活動について	P15~17	<p>広報誌に関して、新聞を取ってないご家庭も多いので、広く見ていただくためには毎週配られる地域新聞と一緒に配布するなどの工夫が必要かと。箇所個所に置かれているが、そこを利用している者にしかわからない。</p> <p>あと、HPがわかりづらすぎて、目的までたどり着かない。最初の画面をもっとわかりやすくすべき。</p>	<p>新聞未購読世帯の中で広報紙を必要とする希望者へは、ポスティングサービスの対応を行っており、その割合は年々増加しています。また、インターネットを使用した広報紙の閲覧には、市HPの他、公式LINE、スマートフォンアプリ「マチイロ」、多言語対応デジタルブックアプリ「カタログポケット」があり、パソコンやスマートフォン・タブレット端末による利用者も増加傾向となっています。時代の変化に対応し、紙媒体だけでなく様々な配布方法について今後も検討してまいります。</p> <p>市HPについては、必要な情報にスムーズにたどり着けるよう、次期リニューアルに向け検討してまいります。</p>

第2次習志野市文化振興計画(案)パブリックコメント 提出された意見等の概要及びこれに対する市の考え方

No.	項目名	頁	いただいたご意見の概要(正文のみ)	いただいた意見に対する市の考え方(案)
4	第2章 習志野市の文化を取り巻く動向 3 習志野市の文化振興の現状と課題 (3)鑑賞・活動の場である主な施設等について	P20~22	<p>公民館の利用に関しては、団体登録が基本なので個人の自由度がない。 例えば、学生が定期試験や受験時期に勉強できるスペースを空いている部屋を使って提供するなど、サークル関係者 以外の有効利用をもっと提供しないと利用しないと思う。 自由度のある集まれる場を作る。</p> <p>図書館の利用に関しては、本のタイトル/種類・貸し出し状況・他図書館との連携などネット環境が必要。 漫画やアニメを取り入れて、まずは図書館を利用してもらう。(←すでにあつたらごめんなさい)</p>	<p>公民館は、社会教育法や市の定める基準等に基づき、原則として団体による学習活動や交流の場としての利用を前提としております。 一方で、近年はサークルや団体活動の少人数化が進むとともに、個人で学習できるスペースとしての利用ニーズがあることについても承知しております。 今後は、公民館の稼働状況や施設運営への影響を踏まえながら、空き時間や空きスペースの有効活用など、より多様な市民ニーズに対応した公民館の利活用について検討してまいります。</p> <p>また、図書館の所蔵資料について、本のタイトル等の書誌事項、所蔵館、貸出し状況等はWebOPAC(インターネット上で図書館の蔵書情報を検索・閲覧できる目録)で公開され、図書館外でもパソコンやスマートフォン等から参照し、本の予約をすることができます。 漫画については、中央図書館において選書基準に基づき収集・提供しています。</p>
5	第3章 将来像と方向性	P30	<p>文化活動をする割合が低いのは、時間がないという理由以外として、サークルなどの団体に所属しなければならないからだと思う。この「参加しなければならない」という義務感が一番の原因だと思われる。 逆に、鑑賞する割合が高いのは、単発だからなのであって、文化活動ももっと気軽に単発で参加できる機会を設ければ参加者も増える。 ただ、これを企画するには大変なので、そこはサークル団体に協力してもらう。 先生を探す手間や料金も省けるし、サークル側も知ってもらい、会員獲得のチャンスにつながる。かも。。</p> <p>文化活動ができる年代はどうしても決まってしまうので、全体というより活動しやすい年代(子供(小学生まで)や50代以降の中老年)を中心に、その年代に見合ったイベントを催していけばいいと思う。 毎月のイベント予定表を、広報誌と同じく地域新聞に折り込んで広く認知してもらうようにすればいいのでは。 学校を通して配布されれば親子共に、より認知されるのでそれもありがた。</p>	<p>公民館では、単発で参加できる講座や体験型イベントを実施するとともに、サークル・団体に公民館の講座やイベントで講師としてご協力いただく取組を行っています。</p> <p>また、(公財)習志野市文化スポーツ振興財団が子ども達を対象として音楽や美術等の文化とスポーツを1日で体験出来る講座やスポーツのイベントを実施しており、その際茶道を体験出来るコーナーを設ける等の取組も行っていきます。</p> <p>今後も、気軽に文化活動に参加できる機会の充実を図るとともに、様々な年代の方のニーズに応じたイベントや講座を企画してまいります。併せて広報紙・市ホームページ・市公式LINE等の活用するとともに自治体連絡機能により小中学生の保護者への情報発信にも努めてまいります。</p>